

2016年度 学校評価報告書 (大阪聖母女学院中学校・高等学校)

学校目標	「世界の人々の心をつなぐ平和の天使」としての心の豊かさ、正義に基づく正しい判断力・コミュニケーション能力、国際的な視野を持つ女性の育成。	校長	西村佳也
------	--	----	------

重点目標	・21世紀型教育実践のための新しいコース体制の立ち上げ、および教育活動の改革にむけた準備。 ・英語教育、海外研修、異文化交流による、国際的視野の育成。 ・学校行事、クラブ活動、ボランティア活動等を中心としたバイタリティと協働力の育成。
------	---

学校自己評価		年度評価(2016年1月)		
大目標	重点目標	具体的方策	取組の成果	
教育事業	教育充実のための取り組み	①グローバル化に対応した「使える(ツールとしての)英語力」養成 【英語教育の充実】 ・オールイングリッシュ英語授業(日本人教諭)の実践。 ・教科書のコミュニケーション分野の積極的な活用により英語運用能力の向上を図る。 ・イメージ教育実施(美術・音楽・体育・学級活動等)準備。入学数(および男子生徒数)から、体育は2コース合同実施とするため、イメージ教育を実施しないことに決定。 【海外語学研修・異文化交流プログラムの実施】 ・ニュージーランド語学研修(2017年3月春休みの約10日間) ・アメリカ(ニュタ州)10週間語学研修の実施 ・フランスノートルダムデノンワ校からのホームステイ生徒の受け入れ実施 ・フランス研修の実施 ・シンガポール18日間研修の募集と実施 ・タイでのボランティア活動と学校間交流ホームステイ ・海外留学生積極的受け入れ ・2017年度からのSKYPEでの個別海外交流開始にむけ、オーストラリアの学校との教育提携関係を構築 ②日本文化理解の深化 ・小笠原流礼法によるマナー講習年間実施(中1・中2の総合の時間) ③アクティブラーニング・探究型学習の実践と導入 ・アクティブラーニングの授業形態を積極的に導入し、授業スキル研究 ・定期的な研究発表等を通じて、生徒のプレゼンテーション力の向上を図る。 ・論理的思考力・熟考力を養成する。 ④コミュニケーション・リーダーシップ教育の充実 ・諸行事を生徒主体で企画・運営・実施する。 ⑤人生設計カリキュラムの充実 高校進路学習(総合)の充実 ⑥福祉教育の充実 ・調査最終日ボランティア、中3福祉学習(総合)	①・中高全クラスで、文法説明での日本語による説明以外、英語で授業を進める授業を展開。 ・教科書のコミュニケーション分野やクリティカルシンキング分野の積極的な活用→TOEFL Juniorの全員受験とスコアアップ ・SILENレベル到達者数:2015年度7名から2016年度は14名(内2名はGOLDレベル)に増加 ・英検2級合格者の増加:2015年度6名から2016年度25名に増加 ・イメージ教育実施(美術・音楽・体育・学級活動等)準備。 ・ニュージーランド語学研修一催行人数に達せず ・ユタ州10週間語学研修一高1(4名)高2(3名)計7名の参加。 ・フランスからのホームステイ生徒の受け入れ実施(15家庭) ・フランス研修→政情不安により中止。 ・シンガポール18日間研修→参加希望者無し。 ・タイでのボランティア活動と学校間交流ホームステイ(5日間)→最少催行人数に満たず中止。 ・海外からの留学生1名受け入れ ・オーストラリアの学校との教育提携関係構築 交流提携校がメルセデス校とカプラー校に決定。 オーストラリア大使館の推薦するコミュニケーションシステムの導入決定。 ②・小笠原流礼法によるマナー講習年間実施 ・中3卒業証書の実施 ③・全教科において学習者が主体となって能動的に学習する授業形態(アクティブラーニング・PBL)を積極的に導入した授業展開の研究。 ・タブレット端末等のICTメディアを積極的に使用した活動を、総合の時間の活動を 中心に展開。 ・教育関係のコンペ等への参加。ナレッジキャピタルアワード本選に2名出場、1名優秀賞、1名奨励賞受賞。 ・国語や英語、保健体育、総合の時間を中心に、ディベートやディスカッション、プレゼンテーション等を学期にそれぞれ1〜2回程度組み込み、表現力・伝達力を磨いた。 ④・「体育祭」「音楽祭」「文化祭」等の諸行事を生徒主体で企画・運営・実施、諸行事実施までの過程で発生するさまざまな課題を通して、生徒自らが、協力を乗り越える力を養成。 ⑤分野別セミナーや夢ナビライブをはじめとする進路研究の機会を年間通じて設定。 ⑥・調査最終日ボランティア(福祉施設訪問・通学路清掃など)の実施 ・あしなが学生募金への参加 ・釜崎の炊き出し ・中3福祉学習の実施	【新コース体制実施にむけて】 ・新体制での各コースのカリキュラムに基づく教育内容の充実をはかるため、アクティブラーニングやPBL型授業実践に向けた教員のスキルアップ(研修の実施を含む)を継続して実施する。 【海外研修・留学について】 ・次年度に向けて、研修制度や留学制度を整備、増設するうえで、従来の規程の見直しや、留学前後の学習活動内容の充実を図る。 ・生徒留学中のご家庭への連絡を密に行う。 ・全員参加の海外研修実施にむけ、相手校との連携と連携内容の確認を行っていく。 【保護者会・後援会との連携】新規程の適用に関する共通理解ができていくかを常にチェックしながら、より円滑な運営ができるよう、連携をはかっていく。
		1) 21世紀型教育実践にむけた研修の実施 2) カトリック学校教員としての資質の向上にむけて	・アクティブラーニング実践のための継続的かつ定期的な教員研修の実施。 ・アクティブラーニングの効果的導入・実践方法を調べる研究授業の実施。 ・学外で開催される、アクティブラーニング関連研修への参加。 ・ICTメディアの有効的活用に関する学内研修や事例研究会の開催。 ・カトリック学校教員養成会(毎年2名枠)に教員2名参加。 ・年3回(学期に1回)宗教研修(全教員対象)を実施。 ・夏期休暇期間の懇話会(宇治カルメル修道会にて、希望者参加)実施。	・アクティブラーニング研修の頻度を上げる。 ・ICT機器導入のための全体研修の頻度を上げ、機器を使うための授業にならないよう、研究を継続する必要あり。教員の機器使用スキル向上にむけた実践研究が必要 ・休暇期間の懇話会に参加しやすい日程の設定が必要。
教育環境の整備	新体制を支える環境の整備	1) アクティブラーニング、PBL型授業実践のための環境整備 2) 安全・安心・快適な活動環境の維持	1) ・21世紀型教育実践のため、アクティブラーニングルームの新設 ・討論や議論、グループ活動のしやすい机・椅子の設置、教室の前後壁面をすべてホワイトボードに一新。 ・書道室にプロジェクター(天井面に設置)とスクリーン(自動昇降)を新設 ・タブレット端末導入を視野に入れたWi-Fi環境や無線LAN等のICT環境の整備。 ・男子更衣室トイレ(各階1室ずつ)の設置完了。 ・男子更衣室の新設 ・男子サッカー部設立にむけた環境整備:体育館側防球ネットやゴール等の設置。2) ・デジタルサイネージ廊下壁面に設置 ・掃除用ロッカー、教車等の大型備品の修理、点検、更新。 ・老朽化した外壁や窓枠、その他の部分の早期修理、点検、補修。 ・卓球室の遮光および断熱対策設備の設置。	1) ・多くの教科で、PBL授業やグループワークを実施することにつながった。次年度からの香里スヴェール学院の教育活動においてPBL型授業の展開に施設を有効に利用していきたい。 ・プロジェクターやスクリーンの設置が一部の教室に限定されているため、次年度以降、全教室で同様の設備を設置する必要がある。 ・自立・自律の力を養成するために、デジタルサイネージで連絡事項等を随時更新し、生徒自らが情報管理・スケジュール管理ができるように運用。更新速度を上げ、教師からの口頭での全体伝達を減らし、今年以上に自立、自律力の養成につなげたい。 ・トレーニングルームの床面の補修および空調設備の設置は次年度以降に延期。 ・テニスコート ・周辺や校庭の各所に外灯を増設。庭木の剪定や大型備品の整理を徹底し、死角になる場所を無くし、通行の安全性を確保する対策を継続していく。
		1) 寝屋川市との連携 2) 近隣の学校およびPTAとの連携 近隣住民との協力体制強化 3) 寝屋川ロータリークラブとの連携 4) 香里カトリック教会との連携 5) 保護者会との連携 6) 同意会との連携	・寝屋川市主催の行事(「街歩きツアー」「青年祭」)への協力と参加。 ・寝屋川市ブランド戦略室との連携および、包括連携協定締結法人とのタイアップ。寝屋川市主催の青年会議所、生徒会執行部員が参加。 ・近隣福祉施設(高齢者福祉施設や保育園、幼稚園)への訪問や演奏会等の開催。 ・国際ソロボチニスト主催行事へのからしだね部の参加。 ・寝屋川ロータリークラブの紹介による留学生1名の受け入れ。 ・定期調査最終日ボランティア活動(通学路の清掃) ・寝屋川六中校区のPTAとの合同活動(連絡協議会やクリーンキャンペーンなど)への参加。 ・近隣の児童や生徒、住民の安全確保のために寝屋川警察との連携を強め、不審者対策のパトロールを強化。 ・本校関係者の車で来た場合は非常時や荷物の運搬時等に制限し、近隣通行者の安全確保に努めた。 ・保護者会規約の改定にむけ、意見交換を頻繁に行い新規約が制定された。④近隣地域との連携 ・「さくらin聖母」「クリスマスin聖母」「クリスマスイルミネーション点灯」などの行事へ近隣の方々をご招待 ・各種学校行事(文化祭、体育祭等)への近隣町内会長様ご招待 ・カトリック香里教会主催の行事への積極的参加 ・神父様による聖書読書会(毎月1回開催)の開催 ・宗教研修の講師依頼 ・生徒、教職員の懇話会での神父様のご指導依頼	・本校関係者の、近隣への車両乗り入れ制限について協力を呼びかけているが、近隣での車の迷込がなくなっていない現実がある。今後も継続して協力を呼びかけていく。
募集・入試に係る事業	入学定員の確保	1) 募集活動の強化 2) 関係各所との連携	1) ・2017年度からの学校改革実施にあたり、新聞広告、電車内広告、学校案内パンフレット、ポスター等で、21世紀型教育を前面に打ち出し、香里スヴェール学院の新しい教育活動をPRした。 ・ホームページやインターネット等を有効利用した広報活動を展開した。 2) ①大阪聖母女学院小学校との連携 ・12年一貫教育プログラムの構築 ・小中高のクラブ交流会(年3回) ・年間数回の合同教職員ミサの実施と参加による、相互理解の深化 ・月1回レベルの小中高合同管理職会議 ②保護者会との連携 ・保護者会総会や保護者会の会議での入試広報情報の共有。 ③同意会との連携 ・体育祭、文化祭等での出店依頼 ・同意会主催行事への協力と協働(成人の集い、同意会入会式等) ・入試イベントへの卒業生の出演	1) ・中学入試では、総受験者数は増加したが、入学者は38名にとどまった。 ・高校入試では総受験者数および入学者数が大幅増加、入学者は220名(昨年度入学者数は85名)。2) ①英語教育と思考力養成教育の一貫性構築にむけ検討・研究を次年度も継続し、早期に充実した12年一貫教育体制を構築したい。

学校関係者評価
実施日 2016年3月
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>・2016年度4月に入ってくる学校改革発表となり、在校生、在校生保護者に大きな動揺を与えたことはアンケート結果からも読み取れる。しかし、新しい教育の実践と、常に社会で求められる人を輩出する学校として、改革に踏み切った意味は大い。教育の中身を充実させることで、ここに学ぶ生徒たちが真に豊かに成長できることが第一。</p> <p>・女子校での教育を求めて今年度4月に入学した中1・高1の生徒、保護者の中にある思いを大切にしながら、今後の向きをお願いしたい。</p> <p>・学校改革の進捗状況をこまめに発信していくことで、安心感が増す。</p> <p>・(アンケート結果から)現在の学校生活に対する満足度は高い方だと思われるが、急な体制変更と今後の展開に対する不安は払しょくできていない。改革によってよかった、という思いを持って、次年度の教育充実をはかってほしい。</p> <p>・新しい教育の推進は喜ばしいが、現在のコース体制で学ぶ生徒たちが、従来の学びと新しい学びの中で混ざることの無いよう、着実に力をつけて進路を切り開いていくよう、これまで以上に充実したサポートをおねがいしたい。</p>
<p>【2015年度と2016年度の比較】 ・大阪聖母女学院に入学してよかったと思っている。2015(生徒)</p> <p>2016(生徒)</p>
<p>・大阪聖母女学院に入学させてよかったと思っている。2015(保護者)</p> <p>2016(保護者)</p>
<p>・学校生活は充実している。2015(生徒)</p> <p>2016(生徒)</p>